

科学センター集録

＝第 66 集＝

令和 5 年度版



岩国市科学センター

目 次

○歴代館長名簿

目次-----	1
科学センターの歴史-----	2
科学センター経営概要-----	3
令和5年度実施事業-----	5
令和5年度主要事業の実施状況-----	7
令和5年度展覧会等の出展・受賞状況-----	14

科学センターの歴史

1 科学センター開館まで

昭和 26 年の岩国市理科教育連盟の創設により、研究授業、実技講習会、巡回移動講習会や科学移動教室を開催し、昭和 27 年には第 1 回の科学作品展、科学研究発表会、模型飛行機グライダー競技会を始める。昭和 27 年 11 月に教育委員会が発足。昭和 28 年 1 月に岩国市理科教育研究会が結成されて、巡回科学移動教室が一段と活発化し、県科学展、科学研究発表会や広島大学科学研究発表会等で優秀な入賞者を輩出した。

このような中で、活動の拠点としての研究施設開設の期待が高まり、昭和 29 年 11 月に麻里布小学校で開催された科学振興展覧会を契機に、科学センターの仮設場所として同小学校離れ校舎の教室が当てられた。

2 科学センター開館（本庁 7 階） 昭和 35 年～昭和 44 年

岩国市科学センターは、広兼教育長（当時）などの努力により、昭和 34 年の新庁舎完成にあわせて、昭和 35 年 1 月、庁舎 7 階に設置される。

初代館長に河本新太郎指導主事が学校教育課長補佐から就任し、昭和 36 年 2 月から雑賀英男を指導員として委嘱する。

昭和 37 年度から、従来 of 移動科学教室の発展として、クラブ組織と指導員制度を確立させ、市内小学校 5 年から中学校 3 年までの児童・生徒に参加希望を募って、年間を通しての計画的な指導を始める。（鉱物、植物、昆虫、電気、化学、検鏡、魚貝、科学工作、物性、天体、気象、アマ無線、写真、計算尺）

昭和 40 年度には、冬季休業中における自由課題として第 1 回岩国市小中学校発明工夫・科学工作展を実施する。

3 横山二丁目（現吉香公園内）に移転 昭和 44 年～昭和 48 年

市庁舎が手狭になったため、昭和 44 年 1 月 20 日に旧岩国高校講堂跡（横山二丁目）に引越し、昭和 44 年 4 月に開館する。

昭和 48 年 6 月 30 日に、指導員を非常勤職員として身分保障した条例及び規則が制定される。この年から、スズムシの無料配布が始まる。

4 今津六丁目（旧消防本部所在地）に移転 昭和 48 年～昭和 53 年

吉香公園整備のため、昭和 48 年 8 月 26 日に旧水道局庁舎跡（今津六丁目）に移転する。ホタルの人工養殖場をつくる。（昭和 50 年度）

5 山手町一丁目（旧料理学校跡）に移転 昭和 53 年～平成 20 年

市民会館の新築により、消防本部が今津六丁目の科学センター所在地に移転することになったため、昭和 53 年 1 月に、市役所山手庁舎（山手一丁目）内に移転する。

平成 18 年 3 月 20 日、8 市町村が対等合併し、新岩国市が誕生する。

6 麻里布六丁目（旧税務署跡）に移転 平成 21 年～

山手庁舎老朽化のため、平成 21 年 1 月に市役所麻里布庁舎（旧税務署跡）内に移転する。

科学センター経営概要

子どもたちの理科離れが叫ばれる中、自然との対話の不足が気になるところです。また、ハサミ、カッターナイフ、ものさし、ひもなどの道具を利用した遊びが少なくなってきたことから、道具が使えない子どもたちも増えています。

かつて、ノーベル物理学賞受賞者の朝永振一郎氏は、

「ふしぎだと思ふこと　これが科学の芽です。

よく観察してたしかめ　そして考えること　これが科学の茎です。

そして最後になぞがとける　これが科学の花です。」

と語っています。「科学の花」を咲かせるために、科学センターは、「自然」と「道具」をキーワードに、「か」「が」「く」を重点施策にします。

経営の基本方針

「か」 科学への興味を育む環境づくり

「が」 学校では取り組みにくい体験活動の充実

「く」 暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

施策項目

「か」 科学への興味を育む環境づくり

- (1) 市民・教員・児童生徒を対象とした科学講座の開催
- (2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰
- (3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実

「が」 学校では取り組みにくい体験活動の充実

- (1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催
- (2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催

「く」 暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

- (1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介
- (2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実
- (3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談
- (4) 自然科学団体や民間企業などとの連携

予算について（令和5年度当初歳出予算）

科学センター費	55,976千円
（内訳）人件費	50,090千円
運営費	504千円
科学の祭典開催事業費	260千円
各種教室開催事業費	2,094千円
科学センター展示整備事業費	212千円
ミクロ生物館管理費	2,816千円

開館日数及び入館者数（令和5年度 科学センターのみ）

開館日数	293日
入館者数	3,540人

センターの施設

〔建物〕

岩国市役所麻里布分室の1階と2階の一部を使用

主要な部分の面積 約 523 m²

1階 約 283 m² (展示コーナー、図書コーナー、資料室、倉庫、事務室等)

2階 約 240 m² (講座室、会議室、準備室、倉庫等)

他に 屋外倉庫 20 m²、別棟工作室 32 m²

〔設備・展示品〕

天体ドーム 6.5 平方メートル 平成 2 年 2 月 25 日設置 950 千円
 オルビス株式会社 (大阪市中央区)
 平成 21 年 10 月 25 日移設 (錦中学校敷地内)

天体望遠鏡 (125mm 屈折望遠鏡) タカハシ FC-125
 平成元年 3 月 31 日購入 1,180 千円
 平成 21 年 10 月 25 日移設 (錦中学校敷地内)

(200mm 反射望遠鏡) ミード LX 200-20
 平成 12 年 7 月 4 日寄贈 410 千円

(200mm 反射望遠鏡) Vixen VC200L
 平成 30 年 9 月購入 (ふるさと基金)

(150mm の反射式望遠鏡) Vixen スーパーポラリス R - 150 S
 令和 2 年 3 月 21 日寄贈

岩石鉱物標本 約 1,000 点 (他に未登録約 500 点)

昆虫標本 約 40 ケース

貝標本 約 200 点

植物標本 約 10 箱

〔主な寄贈品〕

ウェッデルアザラシ剥製	1	昭和 62 年 9 月 3 日
アデリーペンギン剥製	1	昭和 62 年 9 月 3 日
琥珀 (1 億年前)	1	平成 5 年 1 月 19 日
カラーテレビ及びビデオデッキ	1	平成 7 年 3 月 10 日
液晶プロジェクター	1	平成 10 年 5 月 6 日
ナウマン象の上腕骨	1	平成 16 年 4 月 14 日
黄鉄鉱・硫黄・水晶ほか		平成 19 年 6 月 8 日
ワイヤレスマイク一式		平成 20 年 11 月 18 日
実験用机、陳列ケースほか		平成 20 年 11 月 18 日
喜和田タングステン標本ほか		平成 20 年 12 月 2 日
岩国周辺の岩石 32 個		平成 21 年 11 月 28 日
全国の鉱石 (旧美川町寄贈受) 1,000 点 (登録数約 460 点)		平成 22 年 9 月 3 日移管
化石 (三葉虫・魚・化石木)		平成 22 年 11 月 25 日
「岩国市の自然」(複写版) 100 冊		平成 27 年 3 月 31 日
アマミサソリモドキの標本		平成 28 年 11 月 13 日
ワニ・アルマジロの剥製		平成 29 年 6 月 1 日
150mm の反射式望遠鏡		令和 2 年 3 月 21 日
ウミガメ剥製 2 体		令和 3 年 6 月 15 日

令和5年度 実施事業

「か」 科学への興味を育む環境づくり

- (1) 市民・教員・児童生徒を対象とした科学講座の開催
 - ① 児童・生徒を対象とした科学教室の開催
- (2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰
 - ① 科学振興展覧会の開催
 - ② 発明工夫・科学工作展の開催
 - ③ 優れた作品や研究に対する表彰の実施
- (3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実
 - ① 動植物の飼育・栽培の奨励
 - ② 植物・昆虫・貝・岩石等の同定（植物・昆虫・貝・岩石などの採取・標本類の名前を調べること）会の開催

「が」 学校では取り組みにくい体験活動の充実

- (1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催
 - ① 道具を使った科学教室の実施
- (2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催
 - ① 創造する科学教室の実施
 - ② 科学クラブの効果的な運営

「く」 暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

- (1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介
 - ① 教材・教具等の貸出
 - ② 科学教材・工作の展示
- (2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実
 - ① 青少年のための科学イベントの開催
 - ② 特別科学講演会の開催
 - ③ スズムシの無料配布
- (3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談
 - ① 夏休み自由研究相談会
 - ② 同定会の開催
 - ③ 科学センター月報の発行

(4) 自然科学団体や民間企業などとの連携

〔連携団体組織〕

艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト、神戸市立工業専門学校、大阪公立大学、三井化学株式会社、山口県立山口博物館、東芝未来科学館、岩国工業高等学校、高水高等学校附属中学校、岩国市ミクロ生物館、長州科楽維新プロジェクト（山口大学工学部）、周防大島町なぎさ水族館、蔵前工業会広島県支部、中国電力株式会社山口支社、大島商船高等専門学校、安田女子中学高等学校、岩国市環境政策課、岩国市文化財課、岩国市・和木町小学校教育研究会理科部会（小教研理科部会）、岩国市・和木町中学校教育研究会理科部会（中教研理科部会）、藤岡市助博士顕彰会、株式会社東芝、岩国科学を楽しむ会等

〔主要な連携事業〕

① 他館・企業・学校と連携した科学教室

（艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト、神戸市立工業専門学校、大阪公立大学、三井化学株式会社、山口県立山口博物館、東芝未来科学館、岩国工業高等学校、高水高等学校附属中学校）

② 「青少年のための科学の祭典 2023in 岩国」

（岩国市ミクロ生物館、長州科楽維新プロジェクト（山口大学工学部）、周防大島町なぎさ水族館、蔵前工業会広島県支部、中国電力株式会社山口支社、大島商船高等専門学校、安田女子中学高等学校、地球温暖化防止を考える会、岩国市文化財課、岩国市科学センター科学工作クラブ）

③ 岩国市・和木町科学振興展覧会

（小教研理科部会、中教研理科部会）

④ 岩国市発明工夫・科学工作展覧会

（小教研理科部会、中教研理科部会）

⑤ 藤岡市助博士記念科学振興表彰

（藤岡市助博士顕彰会、株式会社東芝、小教研理科部会、中教研理科部会）

令和5年度 主要事業の実施状況

「か」 科学への興味を育む環境づくり

(1) 市民・教員・児童生徒を対象とした科学講座の開催

① 児童生徒を対象とした科学教室の開催

ア 科学センターの指導員による科学教室（27回）

月日	曜日	時間	講座名	場所	参加人数
5月14日	日	10:00～12:00	センサーライトを作ろう	科学センター	10人
5月21日	日	10:00～12:00		科学センター	9人
5月28日	日	10:00～12:00	ハンドポンプで飛行機を飛ばそう	科学センター	10人
6月11日	日	10:00～12:00		科学センター	12人
6月18日	日	10:00～12:00	ファラデーモーターを作ろう	科学センター	10人
6月25日	日	10:00～12:00		科学センター	9人
7月2日	日	10:00～12:00	モールス信号練習機を作ろう	科学センター	10人
7月9日	日	10:00～12:00		科学センター	中止（大雨）
7月16日	日	10:00～12:00	光で恐竜骨格を浮かび上がらせろ！	科学センター	12人
7月23日	日	10:00～12:00		科学センター	10人
7月30日	日	10:00～12:00	子や孫と作る科学おもちゃ （くるくるアニメを作ろう、ペットボトル でけん玉を作ろう）	科学センター	14人
8月6日	日	10:00～12:00		科学センター	16人
8月2日	水	10:00～12:00	貝がらを使って二酸化炭素を 発生させてみよう	科学センター	8人
8月10日	木	10:00～12:00		科学センター	9人
8月25日	金	10:00～12:00	磁石で動くプロペラカーを作ろう	科学センター	8人
9月3日	日	10:00～12:00		科学センター	9人
11月12日	日	10:00～12:00	30万年前の岩石から化石を取り出そう！	科学センター	12人
11月19日	日	10:00～12:00		科学センター	12人
12月3日	日	10:00～12:00	めがねの形をしたモーターを作ろう	科学センター	12人
12月17日	日	10:00～12:00		科学センター	10人
1月14日	日	10:00～12:00	音と光でSOS	科学センター	11人
1月21日	日	10:00～12:00		科学センター	12人
2月4日	日	10:00～12:00	壁を通り抜ける不思議な箱をつくろう	科学センター	12人
2月18日	日	10:00～12:00		科学センター	11人
2月25日	日	10:00～12:00	水酸化ナトリウム水溶液とうすい塩酸を混 ぜるとどうなるか調べよう	科学センター	10人
3月3日	日	10:00～12:00		科学センター	10人
3月10日	日	10:00～12:00	子や孫と作る科学おもちゃ （光の万華鏡を作ろう。ゴム銃を作ろう）	科学センター	20人
3月17日	日	10:00～12:00		科学センター	20人
				合計	308人

イ 他館・企業・学校と連携した科学教室

月日	曜日	時間	講座名	場所	参加人数
7月26日	水	9:30~12:00 13:30~16:00	水中ロボットプログラミング教室 (神戸市立工業高等専門学校)	艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価 サテライト	11人
7月28日	金	10:00~12:00 13:30~15:30	水中科学工作教室 (大阪公立大学)	艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価 サテライト	31人
8月1日	火	10:30~12:00	ジェラート風スライムをつくろう！ with三井化学ふしぎ探検隊	中央図書館	20人
9月16日	土	13:30~15:00	ロボットプログラミング講座 中級編 (山口県立山口博物館)	ロータスカルチャー センター	12人
10月7日	土	13:30~15:30	オルゴールはからくりBOX！？ (東芝未来科学館)	岩国市民文化会館	24人
10月21日	土	13:30~15:00	ホバークラフト教室 with岩国工業高校	岩国工業高等学校	20人
11月11日	土	13:30~15:00	科学でイクラをつくってみよう with高水高等学校附属中学校サイエ ンス部	岩国市民文化会館	18人
				合計	136人

ウ 出前科学教室

月日	曜日	時間	講座名	場所	参加人数
3月14日	水	15:00~15:45	SDGsの解説、プラスチックごみ などを使用した万華鏡作り	神東小学校	9人

(2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰

① 科学振興展覧会の開催

月日	曜日	時間	行事名	場所	参加人数
9月21日	木	14:00～	令和5年度岩国市・和木町科学振興展覧会審査会	科学センター	20人
9月27日 ～10月8日	水日	9:00 ～17:00	令和5年度岩国市・和木町科学振興展覧会	科学センター	605人
11月16日 ～11月22日	木水	9:00 ～17:00	令和5年度山口県科学作品展出品作品特別展覧会	科学センター	45人
11月29日	水	16:00～	令和5年度岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式	市民文化会館	95人

② 発明工夫・科学工作展の開催

月日	曜日	時間	行事名	場所	参加人数
1月19日	金	16:00～	令和5年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会審査会	科学センター	4人
1月20日 ～2月8日	土木	9:00 ～17:00	令和5年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会	科学センター	118人

③ 優れた作品や研究に対する表彰の実施

月日	曜日	時間	行事名	場所	参加人数
3月23日	土	10:30～	令和5年度藤岡市助博士記念科学振興表彰式	市民文化会館	28人

(3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実

① 動植物の飼育・栽培の奨励

月日	曜日	時間	行事名	場所	寄贈者数	配布人数
7月6日 ～7月7日	木金	9:00 ～16:00	スズムシの無料配布	科学センター	21人	133人

② 植物・昆虫・貝・岩石等の同定

月日	曜日	時間	行事名	場所	参加人数
8月20日	日	13:00 ～16:00	同定会	科学センター	1人

「が」学校では取り組みにくい体験活動の充実

(1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催

① 道具を使った科学教室の実施

「か」(1) ①に同じ

(2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催

① 創造する科学教室の実施

「か」(1) ①に同じ

② 科学クラブの効果的な運営 (9クラブ)

令和5年度科学クラブ員・指導員数

No.	クラブ名	クラブ員 (小学生)	クラブ員 (中学生)	ジュニア 指導員	指導員	合計	対象学年
1	植物	15人			5人	20人	小3～小6
2	昆虫	8人			6人	14人	小4～小6
3	岩石・鉱物	19人		5人	6人	30人	小4～小6
4	天体	15人			6人	21人	小4～小6
5	ミクロの世界たんけん	15人			2人	17人	小4～小6
6	理科実験	20人			5人	25人	小4～小6
7	科学工作	19人			7人	26人	小5～小6
8	身近な化学実験	5人			3人	8人	小6
9	科学実験		9人		3人	12人	中1～中3
	合計	116人	9人	5人	43人	173人	

令和5年度科学クラブ活動実績

No.	クラブ名	開催日	内容	場所	人数
1	植物①	5月20日	クラブ活動の説明、植物の観察、採集の仕方、標本の作り方	科学センター	12人
2	植物②	6月17日	植物観察、採集及び同定	紅葉谷公園、 白山神社周辺	8人
3	植物③	7月15日	植物観察、採集及び同定	城山山頂付近、 山道	10人
4	植物④	10月28日	野生キノコの観察、キノコ図鑑を利用した実践研修	サンライフ岩国	5人
5	植物⑤	11月11日	植物観察、採集及び同定	紅葉谷公園、 サンライフ岩国	4人
6	昆虫①	5月13日	クラブ活動の概要	科学センター	7人
7	昆虫②	6月3日	採集会、チョウの展翅実習	科学センター、 長山公園	7人
8	昆虫③	6月17日	高地に生息しているチョウ類の採集会、同定	山口徳地青少年 自然の家	5人
9	昆虫④	7月2日	横山地区での採集会、同定	紅葉谷公園	7人
10	昆虫⑤	7月15日	美和町での採集会、同定	長谷日苑さざなみ公 園、大根川みがき公園	7人
11	岩石・鉱物①	6月10日	クラブの説明、採集した石の説明	錦帯橋河原	15人
12	岩石・鉱物②	6月17日	標本づくりのための岩石採集	錦帯橋河原	11人
13	岩石・鉱物③	7月27日	標本箱作り	科学センター	18人
14	岩石・鉱物④	8月3日	麻里布小学校岩石園の観察、花崗岩から砂鉄を取り出す実験	科学センター	13人
15	岩石・鉱物⑤	11月4日	美祿市歴史民俗資料館・化石採集、秋吉台科学博物館見学	美祿市（化石採集 場）秋吉台	12人

No.	クラブ名	開催日	内容	場所	人数
16	天体①	5月20日	天体観測の基礎知識、金星、火星、北斗七星、北極星、春の星座の観察	科学センター	13人
17	天体②	8月13日	夏の星座、ペルセウス座流星群についての講義、屋外観察会	玖珂あいあいセンター	11人
18	天体③	10月21日	星座、惑星、ペルセウス座流星群についての講義、屋外観察会	科学センター	11人
19	天体④	12月16日	冬の星座、木星、2024年の天体についての講義、流星・惑星クイズ	科学センター	7人
20	天体⑤	2月10日	火球、人工衛星についての講義、天体観測（木星、オリオン大星雲、すばるなど）	科学センター	11人
21	ミクロの世界①	6月17日	磯の生物・ミクロ生物の採集、磯の生物による水質・生物環境の判定	ミクロ生物館	15人
22	ミクロの世界②	8月19日	夏の海のミクロ生物の採集、観察、スケッチ	ミクロ生物館	11人
23	ミクロの世界③	9月9日	果物、葉っぱ、ミドリムシを顕微鏡で観察	ミクロ生物館	12人
24	ミクロの世界④	9月16日	マイクロプラスチックの採取とアート作品の製作、ミクロ生物の採集と観察	ミクロ生物館	10人
25	ミクロの世界⑤	10月14日	ゾウリムシとミドリムシの観察	ミクロ生物館	11人
26	ミクロの世界⑥	11月11日	秋の海のミクロ生物を調査してリアルな模型を作る	ミクロ生物館	13人
27	理科実験①	6月17日	紙で空を飛ぶものを作って、遊びながら物理の端っこを少しかじってみよう	東小中学校	14人
28	理科実験②	6月24日	砂糖について調べよう	東小中学校	16人
29	理科実験③	7月1日	紙で作る飛行物体、折り紙飛行機、ブーメラン	東小中学校	16人
30	理科実験④	7月8日	スライムの作り方の説明と実験	東小中学校	16人
31	理科実験⑤	7月15日	ゴムの性質についての実験と工作	東小中学校	14人
32	理科実験⑥	7月22日	流体の力学の簡単な説明と実験、ペットボトル握力計の科学	東小中学校	14人
33	科学工作①	6月10日	飛ぶものシリーズ①、滞空型紙飛行機、回転翼グライダーを作ろう	科学センター	18人
34	科学工作②	6月24日	飛ぶものシリーズ②、ガウスの力で飛ぶストローロケット、フィンガーブーメランを作ろう	科学センター	15人
35	科学工作③	7月8日	はんだ付け工作（ミニ・グランドピアノを作ろう）	科学センター	18人
36	科学工作④	7月22日	はんだづけ工作、テンセグリティを作ろう	科学センター	19人
37	身近な化学実験①	7月15日	カビの実験の準備と汚れが落ちる仕組みを調べる実験	科学センター	3人
38	身近な化学実験②	7月22日	カビの実験結果発表と植物から葉緑素や色素などを取り出す実験	科学センター	3人
39	身近な化学実験③	7月29日	ヨウ素液を使った実験	科学センター	3人
40	身近な化学実験④	8月5日	消化の実験、ルミノール反応の実験	科学センター	3人
41	身近な化学実験⑤	8月19日	色々な金属を組み合わせて電池を作る実験	科学センター	2人
42	身近な化学実験⑥	8月26日	水の電気分解の実験と燃料電池を作る実験	科学センター	3人
43	科学実験①	7月26日	電子部品の説明、電子回路の基礎	科学センター	9人
44	科学実験②	8月4日	厚紙と竹ぐしを使ったコマが、いかによく回るのかの予想と実験	科学センター	7人
45	科学実験③	8月9日	丈夫な橋を架けるため、どのような工夫をしてきたかを身近な材料で橋を作り予想-実験-検証する	科学センター	8人
46	科学実験④	8月18日	飛行機の飛行理論と鳥の飛翔状況の共通点、植物界の種子の飛散の共通点	科学センター	5人
47	科学実験⑤	8月23日	非安定マルチバイブレータ回路の作製	科学センター	7人
合計					479人

「く」暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

(1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介

- ① 教材・教具等の貸出
学校等へ適時、貸し出しを実施している。
- ② 科学教材・工作の展示
展示室などで、随時展示している。

(2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実

- ① 青少年のための科学イベントを開催

月日	曜日	時間	行事名	場所	参加人数
11月25日	土	10:00 ～15:00	青少年のための科学の祭典 2023 in 岩国	岩国市民文化 会館	388人

- ② 特別科学講演会の開催

月日	曜日	時間	行事名	場所	参加人数
12月2日	土	13:30 ～14:30	みんなで世界をGoodにしよう！黒ラブ教授のSDGs お笑いサイエンスショー	岩国市民文化 会館大ホール	542人



- ③ スズムシの無料配布
「か」(3) ①に同じ

(3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談

① 夏休み自由研究相談会

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
7月23日	日	9:00 ～16:00	夏休み自由研究相談会	科学センター	1人

② 同定会の開催

「か」(3) ②に同じ

③ 科学センター月報の発行

毎月初めに学校・関係機関へ配布している。

4月 (669号)	「3月の科学教室の様子」「藤岡市助博士記念科学振興表彰式」「手作り科学おもちゃ展」「4月から受付が始まる科学教室」「4月の天体」
5月 (670号)	「5月から受付が始まる教室」「科学クラブ指導員の登録」「科学クラブ員が決まりました」「5月の天体」
6月 (671号)	「5月の科学教室の様子」「6月から受付が始まる科学教室」「スズムシの配布は、事前申し込み制です」「6月の天体」
7月 (672号)	「6月の科学教室の様子」「7月から受付が始まる科学教室」「スズムシの無料配布は、事前申し込みが必要です」「7月の天体」
8月 (673号)	「7月の科学教室の様子」「8月から受付が始まる科学教室」「スズムシの配布が終了しました」「8月の天体」
9月 (674号)	「7月末・8月の科学教室の様子」「岩国市・和木町科学振興展覧会」「9月の天体」
10月 (675号)	「8月末・9月の科学教室の様子」「岩国市・和木町科学振興展覧会開催中」「サイエンスやまぐち2023 第77回山口県科学作品展」「10月から受付が始まる科学教室」「10月の天体」
11月 (676号)	「10月の科学教室の紹介」「山口県科学作品展」「山口県科学作品展出品作品特別展」「11月から受付が始まる科学教室」「11月の天体」
12月 (677号)	「青少年のための科学の祭典2023in 岩国の様子」「11月の科学教室の様子」「12月から受付が始まる科学教室」「山口県科学作品出品作品特別展」「山口県科学研究発表会」「岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式」「12月の天体」
1月 (678号)	「12月の科学教室等の様子」「1月から受付が始まる科学教室」「発明工夫・科学工作展作品大募集」「1月の天体」
2月 (667号)	「1月の科学教室の様子」「2月から受付が始まる科学教室等」「発明工夫・科学工作展覧会」「科学講演会」「2月の天体」
3月 (668号)	「2月の科学教室の様子」「3月から受付が始まる科学教室」「発明工夫・科学工作展覧会表彰式」「手作り科学おもちゃ展」「3月の天体」

■ 令和5年度岩国市・和木町科学振興展覧会

日程：9月27日（水）～10月8日（日） 場所：科学センター

- ・岩国市と和木町の小中学校児童生徒による自然研究・観察及び標本作品（自然の部）及び科学的な工作作品（創造の部）のうち、学校から推薦された作品を展示する展覧会。

○出展数と入賞数

区分	小学校			中学校			合計			
	自然	創造	合計	自然	創造	合計	自然	創造	合計	
出展数	180	60	240	116	18	134	296	78	374	
入賞数	71	32	103	25	6	31	96	38	134	
内訳	特選	11	7	18	8	2	10	19	9	28
	入選	30	10	40	7	2	9	37	12	49
	佳作	30	15	45	10	2	12	40	17	57
県出品作品	6	7	13	6	1	7	12	8	20	

○学校賞

区分	最優秀賞	優秀賞	
小学校の部	岩国市立玖珂小学校	岩国市立由宇小学校	岩国市立平田小学校
		岩国市立高森小学校	
中学校の部	岩国市立玖珂中学校	岩国市立岩国中学校	岩国市立灘中学校

○小学校（自然の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
うきしずみのふしぎ	御庄	1	森岡 桜羽		
どうやって みをまもるのかな ～とくやまどうぶつえんバージョン～	玖珂	1	高塚 希海	県出品	
むらさきキャベツ&ブルーベリーのリトマスじっけん	麻里布	2	上田 佳穂	県出品	
トマトできたよ！！	由宇	2	田中 秀朋		
トマトソムリエかすみ	東	3	保見 夏澄	県出品	
ヘラクレスオオカブトのかんさつ	高森	3	牛尾 友昭		
自然にやさしいプラスチック	玖珂	4	東 暖真	県出品	
絶滅危惧種に近い生きもの パート3	高森	4	杉 友晴		
花を長持ちさせる方法	麻里布	5	高橋 柑那		
大シャボン玉づくりの実験	由宇	5	大下 慎人	県出品	
カイロを使い尽くす	由宇	6	寺岡 知香佳	県出品	

○小学校（創造の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
ジャンプマリオ	由宇	1	吉村 尚将	県出品	
始祖鳥空を飛ぶ？！	平田	2	田丸 湊太	県出品	
足うらせんしゃき	東	2	山根 雅翔	県出品	入選
ブルー☆リニア☆ワールド	川下	3	大久保 博貴	県出品	
リモコンクレーン	愛宕	5	進藤 咲希	県出品	
Don't worry ! I'm cleaning!	由宇	6	重本 悠成	県出品	
アームクレーン	玖珂	6	土井 海司	県出品	

○中学校（自然の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
夏の暑さ対策！！1番早く乾くのは何色？何の素材？	岩国	1	中元 里咲	県出品	
ふきこぼれの研究	岩国	1	岡村 青郁	県出品	入選
メダカの水槽の秘密	灘	1	赤崎 真友子	県出品	
ビタミンCの検出実験	東	2	西藤 帆花		
SDGs 燃料電池をつくろう	由宇	2	池田 光騎	県出品	
植物の葉で日光写真を撮ろう	玖珂	2	秋友 心結	県出品	
新体操の身体難度（DB）の向上についての研究	灘	3	藤田 喜子		
身近な微生物の体のつくりと動き方の研究	高森みどり	3	原田 彩世	県出品	

○中学校（創造の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
マイロボット5洗濯たたみお助けロボット	通津	1	土井 康生	県出品	奨励賞
自動球出し機	玖珂	1	山田 衛杜		

■令和5年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会

日程：1月20日（土）～2月8日（木） 場所：科学センター
 ・冬休みや年間を通じて創作した科学知識に基づく工作作品の展覧会。
 出展数23点（小学校17点、中学校6点）

作品名	学校名	学年	氏名	備考
ピンポン玉回しゅうロボット	東	2	山根 雅翔	最優秀賞
アイスベロベロペー	東	2	味村 詩乃	優秀賞

■令和5年度藤岡市助博士記念科学振興表彰

岩国市・岩国市教育委員会、並びに藤岡市助博士顕彰会の共催で、岩国市出身の藤岡市助工学博士の功績を記念するとともに、本市の児童・生徒の科学への興味関心を高めるため、優れた科学作品製作者に「藤岡市助博士記念科学振興表彰」として以下のとおり各賞を授与しました。

○日時：3月23日（土）10：30～

○場所：岩国市民文化会館

【藤岡市助博士記念特別賞】

氏名	学校名	学年	作品名
土井 康生	通津中	1	マイロボット5洗濯たたみお助けロボット

【市長賞】

氏名	学校名	学年	作品名
山根 雅翔	東小	2	足うらせんしゃき

【教育長賞】

氏名	学校名	学年	作品名
岡村 青郁	岩国中	1	ふきこぼれの研究

【藤岡市助博士顕彰会長賞】

氏名	学校名	学年	作品名
高塚 希海	玖珂小	1	どうやって みをまもるのかな ～とくやまどうぶつえんバージョン～
大久保 博貴	川下小	3	ブルー☆リニア☆ワールド
東 暖真	玖珂小	4	自然にやさしいプラスチック
進藤 咲希	愛宕小	5	リモコンクレーン
寺岡 知香佳	由宇小	6	カイロを使い尽くす

科学クラブ活動報告書

植 物 ク ラ ブ

※付き添いの子供4名含む

実施日	2023年 7月 15日 土曜日	活動場所	城山山頂付近、山道
参加者数	※ 20 名 (大人6名/子供10名)	天候	曇り
指導員名	熊田和登 安田裕 金丸恵子 井上祐一 松浦貴子	記入者	松浦 貴子
実施内容	<p>ロープウェイで城山を上り、下山しながら植物を観察した。 特に変わった植物は以下の通り説明した。</p> <p>【キミノタマミズキ】 モチノキ科の落葉高木。1975年にこの城山で発見されたタマミズキの変異種で、通常は赤い実のところ、これは黄色い実を付ける。 1990年に新種として学名が登録された。希少価値の高い樹木であると説明した。</p> <p>【フシノハアワブキ】 アワブキ科の半常緑高木。通常のアワブキと違い、葉が羽状に付いている。 暖地性植物で岩国市が北限とされており、貴重な樹木である。 ただし残念な事に城山のフシノハアワブキは景観を優先してか伐採されてしまい、かろうじてひこばえから再生した、低く不自然な樹形のものしかない。 このような事がまた起こらない為にも、次世代を担う生徒たちにはたくさんの知識を持って物事に対処してほしいと伝えた。</p> <p>その他、以下の植物について同定、一部採集を行った。</p> <p>【草本】ツワブキ、マムシグサ、チヂミザサ 【木本】サルトリイバラ、タギョウショウ、ヤブムラサキ、カゴノキ、カギカズラ、サカキ 【シダ】ヒトツバ、ウラジロ、トウゲシバ、オオカナワラビ、シシガシラ、リョウメンシダ 【キノコ】キイロアセタケ、テングタケ、スッポンタケ、イロガワリキヒダタケ、ニッケイタケ 気づきなどを記入してください。</p> <p>○時折小雨が降るような天気にも関わらず、非常に蒸し暑く生徒たちが汗だくになっていたので、7月の開催は日を早めるなどの対策が必要だと思った。</p> <p>○指導員が指標植物や生存競争などの少し難しい話をしていましたが、生徒らは熱心に聞き、質問したりしていた。中には自分の体験談を交えて話す子もおり、学習意欲の高さを感じた。多少難しいかと思う話もよく聞いてくれるので、指導員は生徒の知的好奇心を満たせるような話がたくさん出来るよう努力していきたい。</p>		

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

科学クラブ活動報告書

昆虫 クラブ

実施日	R 5年 6月 17日 土曜日	活動場所	徳地青少年自然の家
参加者数	5人 <small>※クラブ員のみ集計</small>	天候	晴
記入者	山本哲彦		
指導員名	岩崎克彦・佐伯英人・恩田浩幸・山本哲彦		
実施内容	<p>高地に生息している蝶類の採集を目的に毎年計画している。この時期は梅雨の頃にあたり、天候が心配されるが、この日は好天に恵まれた。岩国市役所に集合し、市のバスで現地に向かった。現地に着くと、採集をする上で気をつけることを話し、午前の採集を開始した。この日の目的であるウラナミアカシジミやミドリシジミを見ることができたが、高い所を飛んでいて、子どもの網では届かず、指導員の長い網でもかなり捕るのに苦労した。昼食・休憩を取った後、午後の活動を再開した。たいへん暑い中での採集となったが、子どもたちは元気にがんばっていた。</p> <p>最後に、学習室でこの日に採集したものを確認して終えた。</p> <p>この日の採集物は、 キタキチョウ・テングチョウ・ミドリヒョウモン・メスグロヒョウモン・ウラナミアカシジミ・ヒロオビミドリシジミ・ミズイロオナガシジミ・ベニシジミ・サトキマダラヒカゲ・コニワハンミョウ・ハラアカコブカミキリ・トノサマバッタ。</p>		
気づきなどを記入してください。			

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

科学クラブ活動報告書

岩石・鉱物

ク ラ ブ

実施日	R	5年	11月	4日	土曜日	活動場所	美祢市(化石採集場)秋吉台
参加者数	12人 ※クラブ員のみ集計		天候	曇り	記入者	秋友高弘	
指導員名	秋友高弘、館英孝、清田和幸						
実施内容							
1 化石採集および秋吉台の自然観察							
岩国市のバスに乗り、美祢市化石資料館・化石採集所、秋吉台自然科学館に行き、							
第5回目の岩石・鉱物クラブを実施した。							
(1)行程							
市役所東玄関集合(7時40分まで)→8時出発→玖珂IC→下松SA→美祢IC→							
→美祢市歴史民俗資料館・化石採集場→秋吉台(昼食休憩)→秋吉台科学博物館→							
→秋吉台自然研究路→出発→美祢東→下松SA→玖珂IC→市役所(16時30分着)							
(2)活動内容							
・美祢市歴史民俗資料館・化石採集場(10時～12時)							
歴史民俗資料館で高橋学芸員から、美祢市の化石についての説明を受ける。							
その後、館内の標本等を観察したのち、化石採集場に移動する。							
ハンマーとタガネを使って、化石採集を行った。全員化石を採集することができた。							
・秋吉台科学博物館・秋吉台自然研究路(13時～14時30分)							
館内で秋吉台の成り立ちや自然の様子についてのビデオを視聴。							
その後、石灰岩が露出した秋吉台自然研究路を全員で歩き学習を深めた。							
気づきなどを記入してください。							
天候は曇りで、化石採集には適した天候でした。全員が化石採集を熱心に行った。							
採集した化石を高橋学芸員に見ていただき名前などを教えていただいた。							
忙しい行程ではあったが、けが人等もなく充実した活動ができた。							

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

科学クラブ活動報告書

ミクロの世界たんけん クラブ

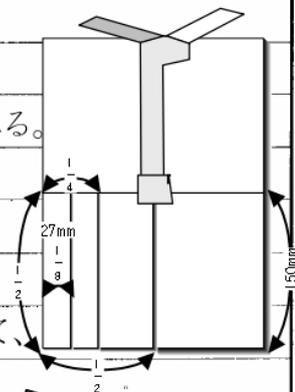
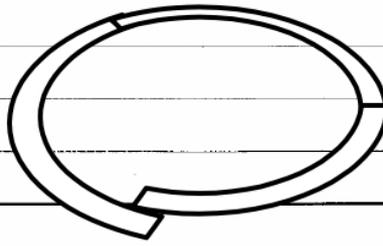
実施日	令和5年 8月 19日 土曜日	活動場所	岩国市マイクロ生物館
参加者数	15名 (大人 4名/子供11名)	天気	晴れ
指導員名	末友靖隆(主)佐々木愛絵里(副)守川明夫(副)松田蒼依(副)		
<p>スマホ顕微鏡を作って夏のマイクロ生物を調査しよう</p> <p>1)夏の海のマイクロ生物をつかまえてみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランクトンネットを用いたマイクロ生物採集 <p>2)マイクロ生物ってどんな生きもの？【顕微鏡下の小さな生き物についての基礎学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位(m,mm,μm)とマイクロ生物 ・マイクロ生物たちの暮らしをのぞいてみよう！（映像を用いた解説） <p>…フトヒゲムシのあさごはん、アメーバのおさんぽ、ラップムシのおひるごはん、 おいしいおにくもマイクロ生物のおかげ等、多様なマイクロ生物の特徴や生き様の紹介</p> <p>3)つかまえたマイクロ生物を観察してみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡を用いたマイクロ生物観察、スケッチ ・食物連鎖についての学習 			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>マイクロ生物採集の様</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>観察の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スケッチの様子</p> </div> </div>			
<p>気づきなどを記入してください。</p> <p>第二回目の活動ではマイクロ生物採取を通して海の命のつながりを学びました。実際に目の前の海でマイクロ生物を採集することでマイクロ生物をより身近に感じていただけたと思います。また、私たちとマイクロ生物のつながりについても学んでいただき、盛りだくさんな内容のクラブとなりました。</p>			

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

科学クラブ活動報告書

理科実験 クラブ

実施日	令和5年6月17日 土曜日	場所	岩国市立東小中学校
参加者数	14名	天候	晴れ
指導者名	手嶋静 石本直邦 辰岡郁彦 西村雪		
実施内容			
空を飛ぶもの			
紙を使って空を飛ぶものをいろいろ作って、遊びながら物理の端っこを少しかじってみよう。			
① 紙を落とす。			
	名刺用紙を顔の高さから、地面の目標をめがけて落としてみる。		
	どうしたら、的の上に落下させられるか…		
	「推測して、試して、確認する。」の繰り返しが科学だよ。		
② 紙コプター			
	A4用紙を、16枚に切り分け、それをハサミで切って折り曲げて、タンポポの種、ラワンの種(実物を見せる)のような物を作る。		
	なぜ?落下速度が遅くなるかを考えてみよう。		
③ スーパー輪投げ			
	厚紙でエアロビーを作って飛ばしてみる。		
★ ハサミの使い方			
★ きちんと説明を聞いてきれいに作る。			
これらを重点的に指導			
④ 投げ方を教えて実際に投げてみる。			
	なぜ水平に遠くまで飛んでいくかを考えてみる。		
気づきなどを記入してください。			
きちんと正確に作る事が一人いた。説明を聞いて正しく作ることができない。			
祖医原性のある試行は科学の基本			

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

科学クラブ活動報告書

科学工作 クラブ

実施日	R	5年	6月	10日	土曜日	活動場所	講座室
参加者数	人		天候	晴	記入者	加藤竜司	
	※クラブ員のみ集計						
指導員名	有福敏、錦生正幸、一色祐司、平田直樹、繁吉弘二、浅川貴史、加藤竜司						
実施内容	<p>「飛ぶものシリーズ」 滞空型紙ヒコーキ、回転翼グライダーを作ろう。</p> <p>①自分の知っている紙飛行機を作ってみよう。</p> <p>まずは、今まで作ってきた紙ヒコーキを作り、どのように飛ぶのか確認した。</p> <p>②紙の重さを変えて同じ紙飛行機を作ってみよう。</p> <p>普通の紙、薄い紙、厚い紙の3種類の紙を使い、同じ折り方で紙飛行機を作り、飛ぶ時の様子の観察、飛んだ時間の計測を行った。</p> <p>③紙飛行機って奥が深い</p> <p>ホンダキッズに提供されている滞空型紙飛行機を作り、自分たちが作った紙飛行機と比べながら飛ばす活動を行った。</p> <p>④おまけ 回転翼グライダーを作ろう。</p> <p>ボンドの使い方、ハサミの使い方など用具の使い方を確認し、回転翼グライダーを作った。</p> <p>色をつけてみたり、グライダーの大きさを変えてみたり、工夫をしながら様々なグライダーを作り、回転している様子を楽しみ、ちがい等を観察する活動を行った。</p>						
	気づきなどを記入してください。						

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

科学クラブ活動報告書

身近な化学実験 クラブ

実施日	2023年 7月 29 土曜日	場 所	科学センター2F
参加者数	6名(大人3名、子供3名)	天 候	晴れ
記入者	進藤哲也		
指導者名	坂下、杉谷、進藤		
実施内容			
テーマ:	ヨウ素液を使った実験		
①ヨウ素液でデンプンを見つけよう。	★ヨウ素液:ポビドンヨードで代用した。		
サンプル:	パン粉、片栗粉、レモン汁、おからパウダー、重曹、クエン酸、 コーヒー(生徒持参)、スナック菓子(生徒持参)		
実験:	サンプルにヨウ素液を添加する。		
結果:	パン粉、片栗粉にデンプンが含まれた。レモン汁へのヨウ素液添加で無色になった。		
講義:	上記結果の原理を説明。スナック菓子は油分のコーティングで染まりにくいことを説明。		
②ヨウ素液でビタミンCを見つけよう			
サンプル:	レモン、キウイ(ゴールド、グリーン)		
実験:	ポビドンヨード一滴に対し、レモン汁、キウイ汁を何滴加えたら色が消えるか、確認した。		
結果:	レモン7滴、キウイ7~9滴 →レモン方が少ない滴数でヨウ素の色が消えた。 ゴールドキウイとグリーンキウイの差は明確ではなかった。		
講義:	今回はレモンの方がビタミンCが多い結果となった(科学クラブでの結果としては初)。		
一般的には	キウイの方がが多いこと、レモンの酸味の主成分がクエン酸であることを説明。		
③その他			
先週抽出した葉緑素に対し、	ヨウ素液を添加したが反応なし。(デンプンなし)		
→ヨウ素反応で植物の葉のデンプンを	分かりやすくする為に葉緑素を抽出した(脱色)ことを説明。		
クエン酸液と重曹液を混ぜて泡立つ	ことを確認。入浴剤への応用について説明。		
○詳細は添付資料(7/29,8/5講義資料)	参照		
気づき、意見、要望などを記入	してください。		
・今年	は人数が少ないので事前準備も比較的余裕があり、臨機応変に実験手順を修正できた。		
・ビタミンCの実験について、	プラコップを使用したが、攪拌効率と滴加終点を正しく見極めるためには試験管を使用すべきであった。(次回への注意事項)		
・本クラブの対象は小6であり、	スポーツクラブや受験塾と重なり、参加人数が減る可能性が高い。		
参加数が多いほど議論が活発になる	ので、追加募集や中学生も対象とすることを相談したい。		

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

歴代館長名簿（旧岩国市から通算）

初代館長	河本 新太郎	昭和35年1月1日	～	昭和37年3月31日
2代館長	佐伯 武夫	昭和37年4月1日	～	昭和42年3月31日
3代館長	梅本 直一	昭和42年4月1日	～	昭和42年5月24日
4代館長	岩崎 利夫	昭和43年9月1日	～	昭和46年3月31日
5代館長	中川 茂美	昭和46年4月1日	～	昭和48年5月31日
6代館長	歓喜 治朗	昭和48年6月1日	～	昭和49年3月31日
7代館長	高林 一郎	昭和49年4月1日	～	昭和50年3月31日
8代館長	横山 清一	昭和50年4月1日	～	昭和51年3月31日
9代館長	徳本 八郎	昭和51年4月1日	～	昭和52年3月31日
10代館長	玉井 昭男	昭和52年4月1日	～	昭和54年3月31日
11代館長	弘中 毅	昭和54年4月1日	～	昭和56年3月31日
12代館長	岩崎 利夫	昭和56年4月1日	～	昭和57年3月31日
13代館長	杉山 丁治	昭和57年4月1日	～	昭和58年3月31日
14代館長	清弘 雄正	昭和58年4月1日	～	昭和59年3月31日
15代館長	長和 信夫	昭和59年4月1日	～	昭和61年3月31日
16代館長	原田 明	昭和61年4月1日	～	昭和62年3月31日
17代館長	長光 史記	昭和62年4月1日	～	平成元年3月31日
18代館長	岸本 道雄	平成元年4月1日	～	平成2年3月31日
19代館長	栗栖 琢也	平成2年10月1日	～	平成4年3月31日
20代館長	中原 一雄	平成4年4月1日	～	平成5年3月31日
21代館長	岸村 進	平成5年4月1日	～	平成10年3月31日
22代館長	尾崎 輝雄	平成10年4月1日	～	平成11年3月31日
23代館長	津山 直人	平成11年4月1日	～	平成12年3月31日
24代館長	田屋 尚文	平成12年4月1日	～	平成14年3月31日
25代館長	市山 忠行	平成14年4月1日	～	平成16年3月31日
26代館長	石本 直邦	平成16年4月1日	～	平成22年3月31日
27代館長	広津 毅	平成22年4月1日	～	平成24年3月31日
28代館長	川戸 裕司	平成24年4月1日	～	平成25年3月31日
29代館長	末弘 隆司	平成25年4月1日	～	平成26年3月31日
30代館長	小田 修司	平成26年4月1日	～	平成26年9月30日
31代館長	吉村 比呂志	平成26年10月1日	～	平成27年3月31日
32代館長	浜川 智也	平成27年4月1日	～	平成29年3月31日
33代館長	森本 敦彦	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
34代館長	林 孝造	平成31年4月1日	～	令和3年3月31日
35代館長	中村 洋一	令和3年4月1日	～	令和4年3月31日
36代館長	弘中 勝	令和4年4月1日	～	令和6年3月31日
37代館長	大黒屋 誠	令和6年4月1日	～	

科学センター年報 第66集

令和6年6月 日発行

岩国市科学センター

住所 岩国市麻里布町六丁目14番25号

TEL (0827) 22-0122

FAX (0827) 22-3922

e-mail iwakagaku@city.iwakuni.lg.jp

表紙の写真
「岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式」
令和5年11月29日